平成30年10月15日

桑名市の防災環境

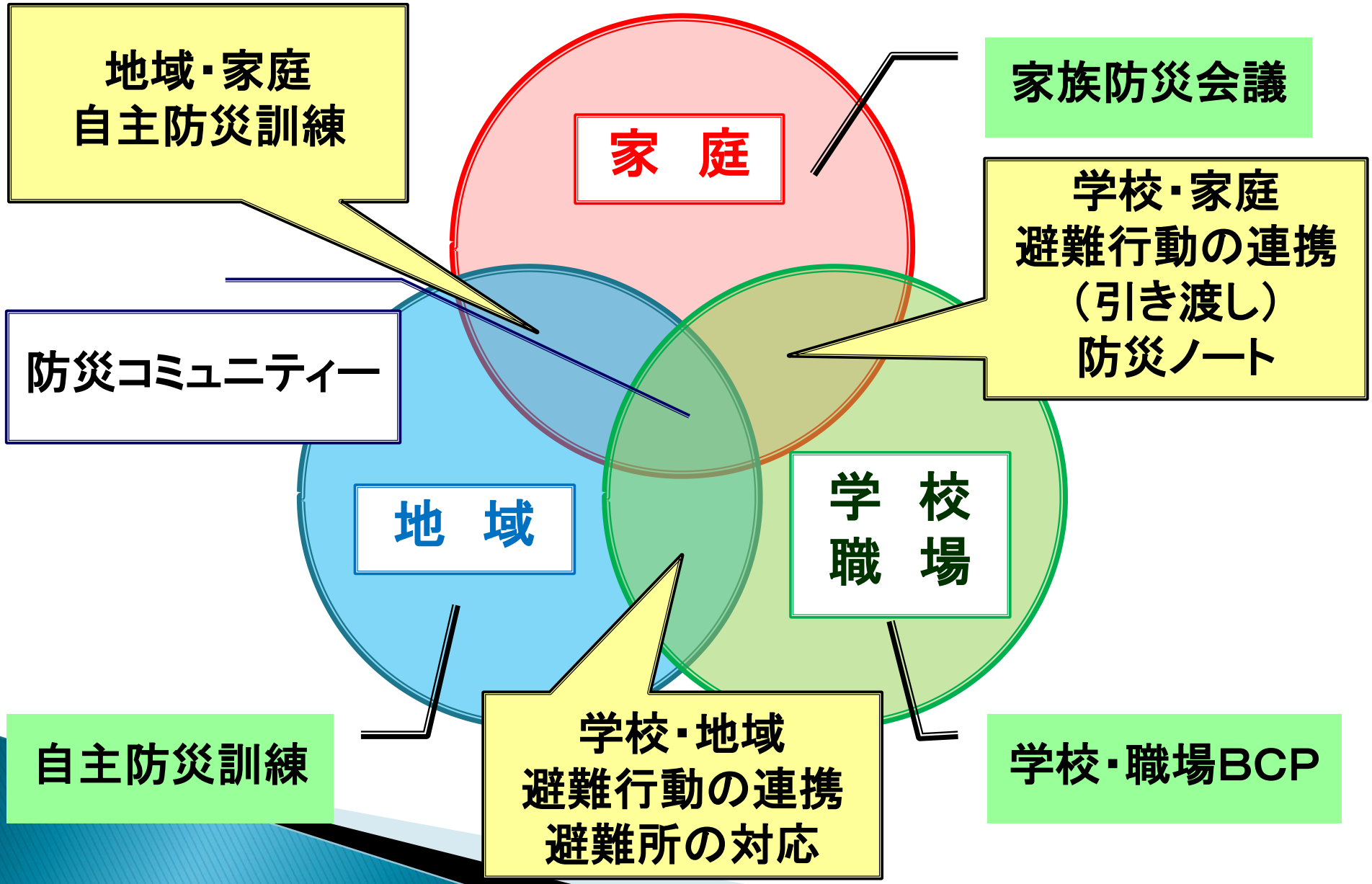
桑名市　防災･危機管理課

今日、お伝えしたいこと

私たちの家族と地域を
災害から守りましょう

- **自分の命は自分で守る**
- **地域の協力**

学校・家庭・地域の協力


地域・家庭
自主防災訓練
家族防災会議
家　庭
学校・家庭
避難行動の連携
（引き渡し）
防災ノート
防災コミュニティー
地　域
学　校
職　場
自主防災訓練
学校・地域
避難行動の連携
避難所の対応
学校・職場BCP

本日のテーマ

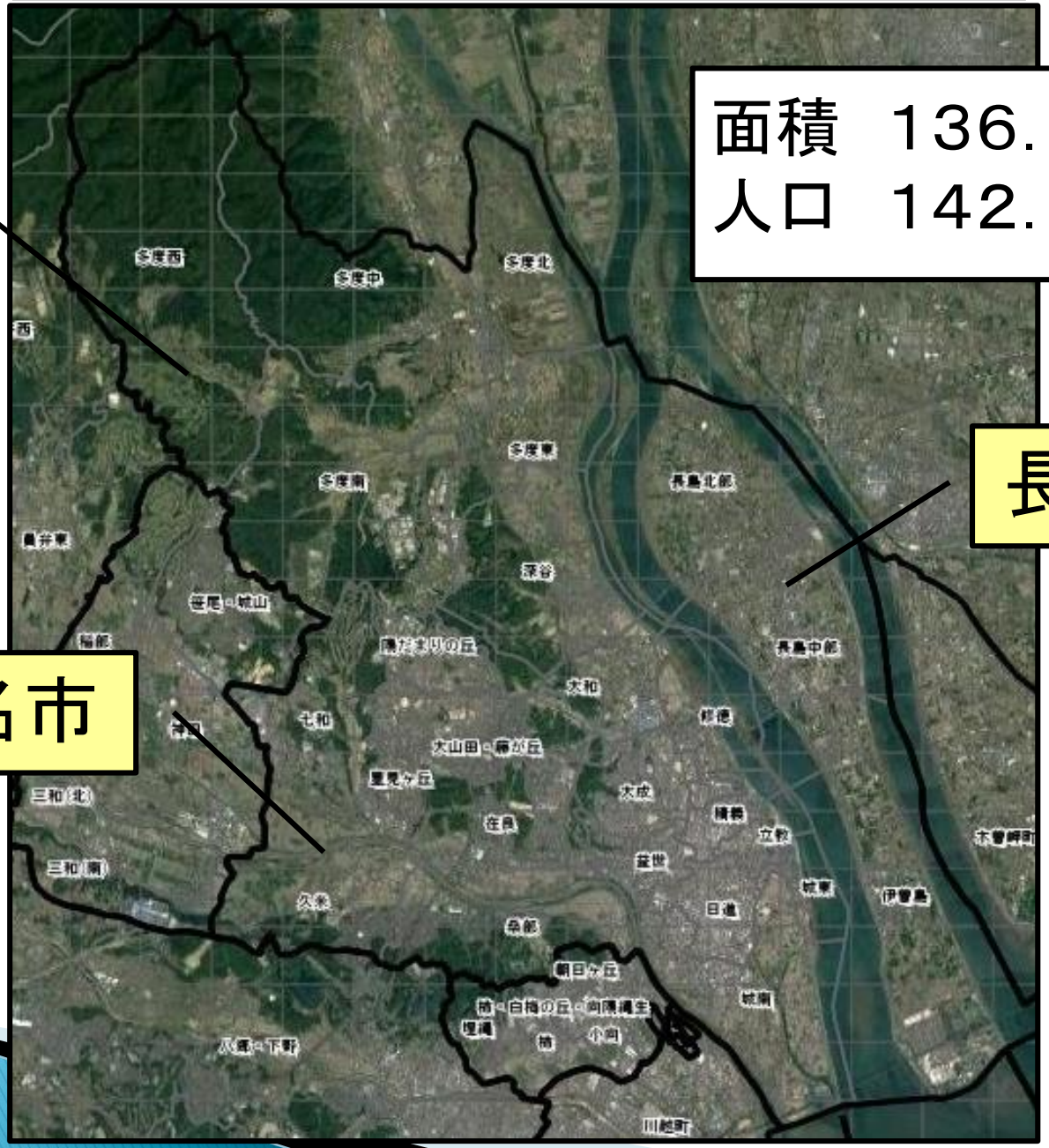
１　桑名市の地域特性

２　災害想定概要

３　地域との連携

桑名市の防災環境

多度町



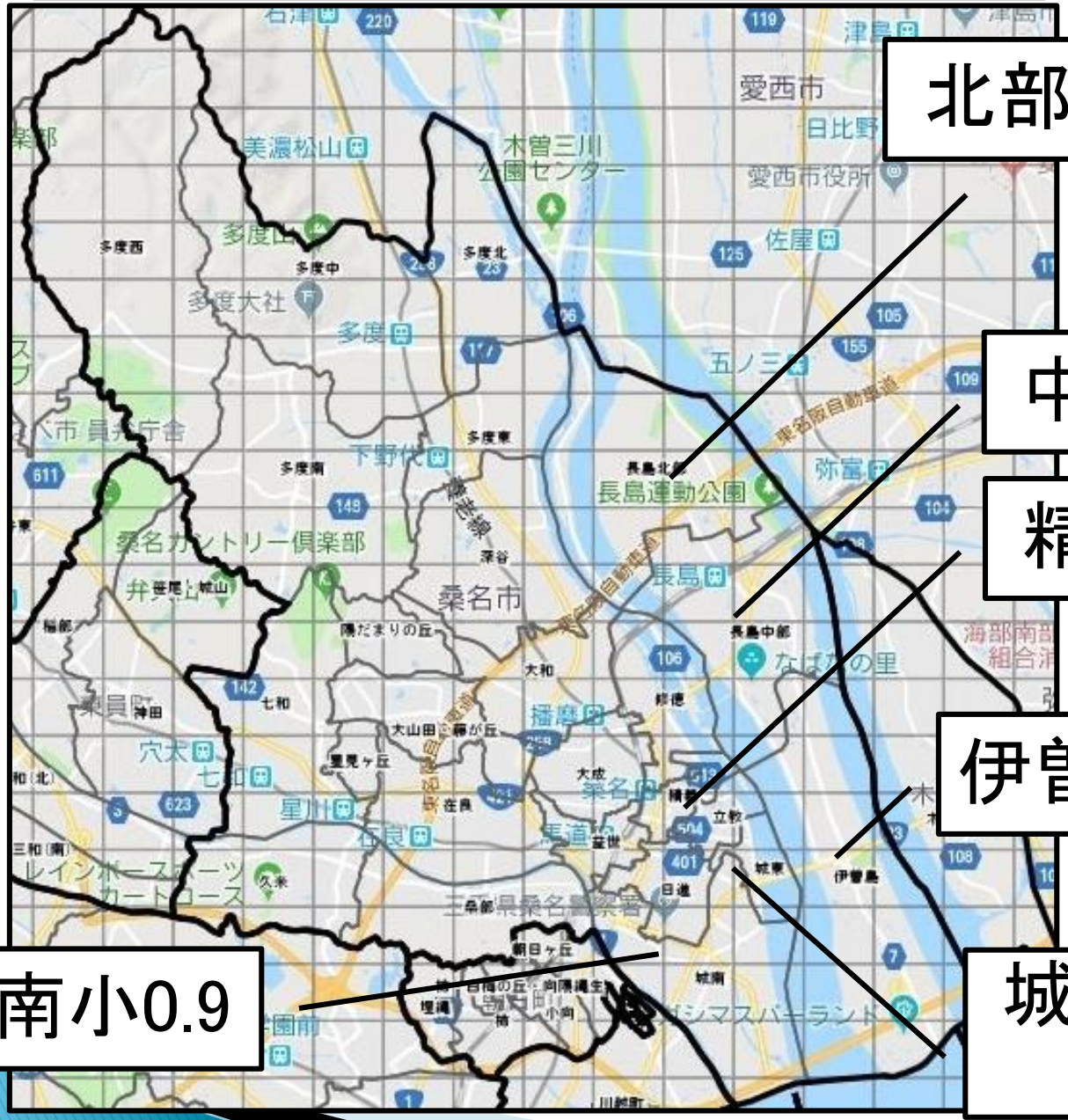
面積　136．6　㎢
人口　142．668人

長島町

旧桑名市

桑名市の防災環境（標高）

（m）



桑名市の災害

伊勢湾台風災害

1　1959年（昭和34年）　被害規模最大
2　暴風域700km　秒速30～40m　939．4hPa
3　驚異的な高潮　約4m（名古屋港）
4　豪雨　9月25･26日　200～400mm

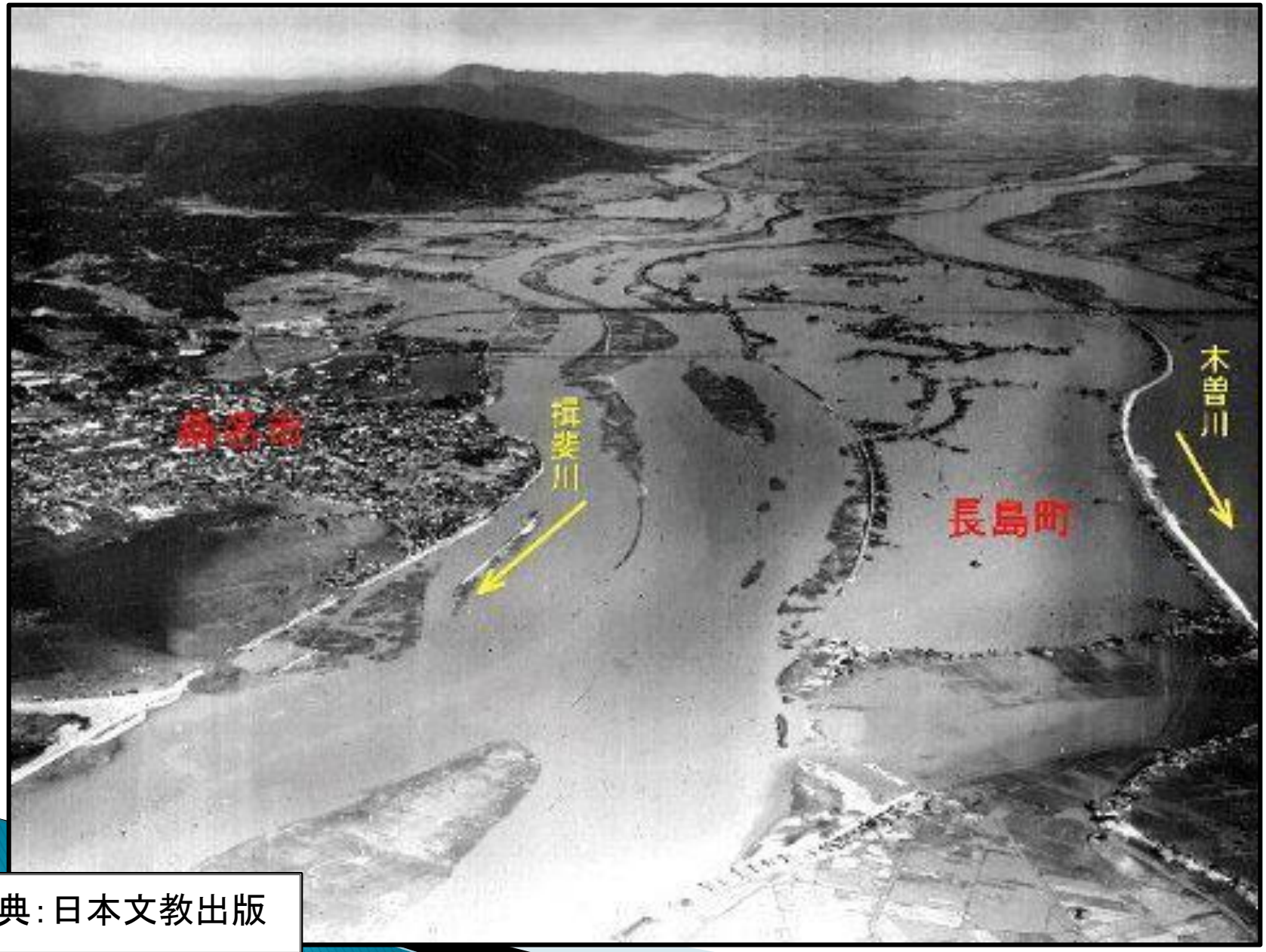
伊勢湾台風クラスが高潮防災計画の基準

人的被害（名）			家屋被害（棟）	
区分	死者	不明者	全壊等	半壊
旧桑名市	197	5	394	1649
長島町	363	18	491	580
多度町	—	—	16	95
合計	560	23	901	2324

出典：三重県

全壊等：全壊、流失

伊勢湾台風災害

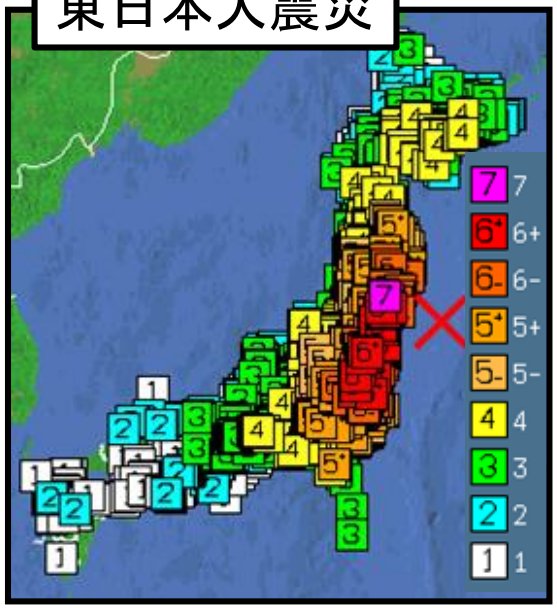


出典:日本文教出版

桑名市の災害想定

地震災害の可能性

東日本大震災



平成23年
3月11日
14:46
M ９
最大震度7

家屋倒壊

阪神・淡路大震災

液状化

東日本大震災

津　波

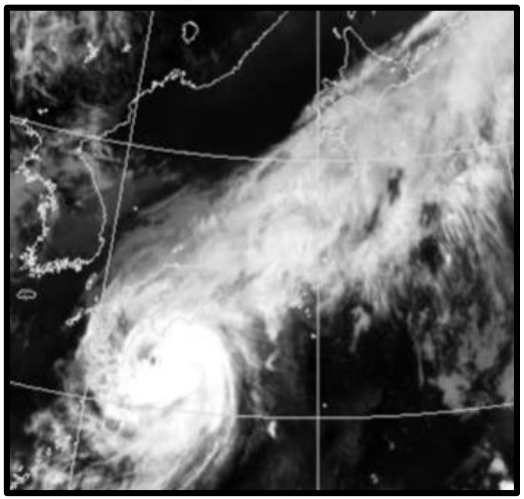
東日本大震災

火　災

阪神・淡路大震災

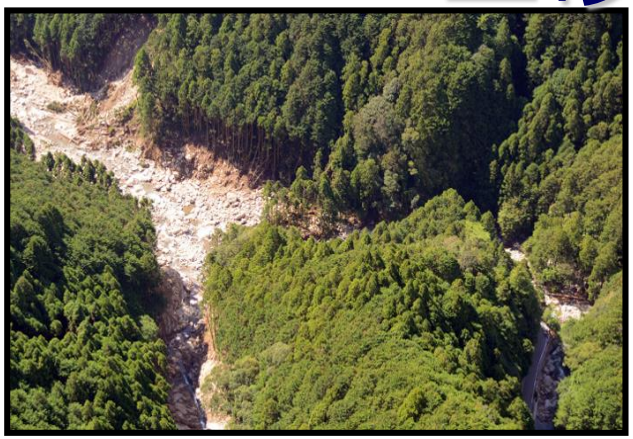
風水害の可能性

台風



台風11号
（平成26年8月）

土砂災害



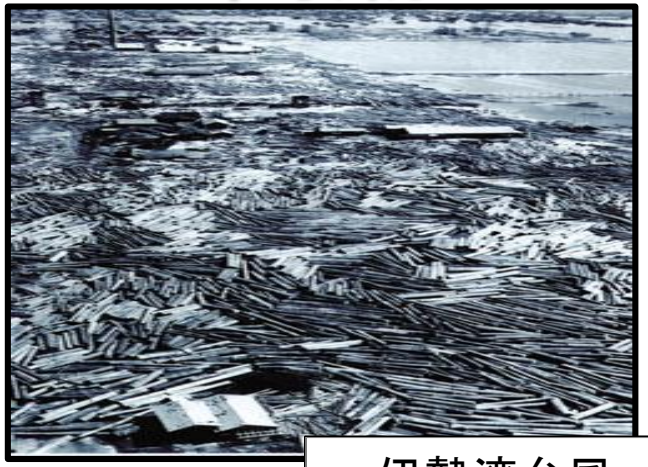
熊野市土石流

紀宝町土砂崩れ

洪水

那智勝浦町洪水

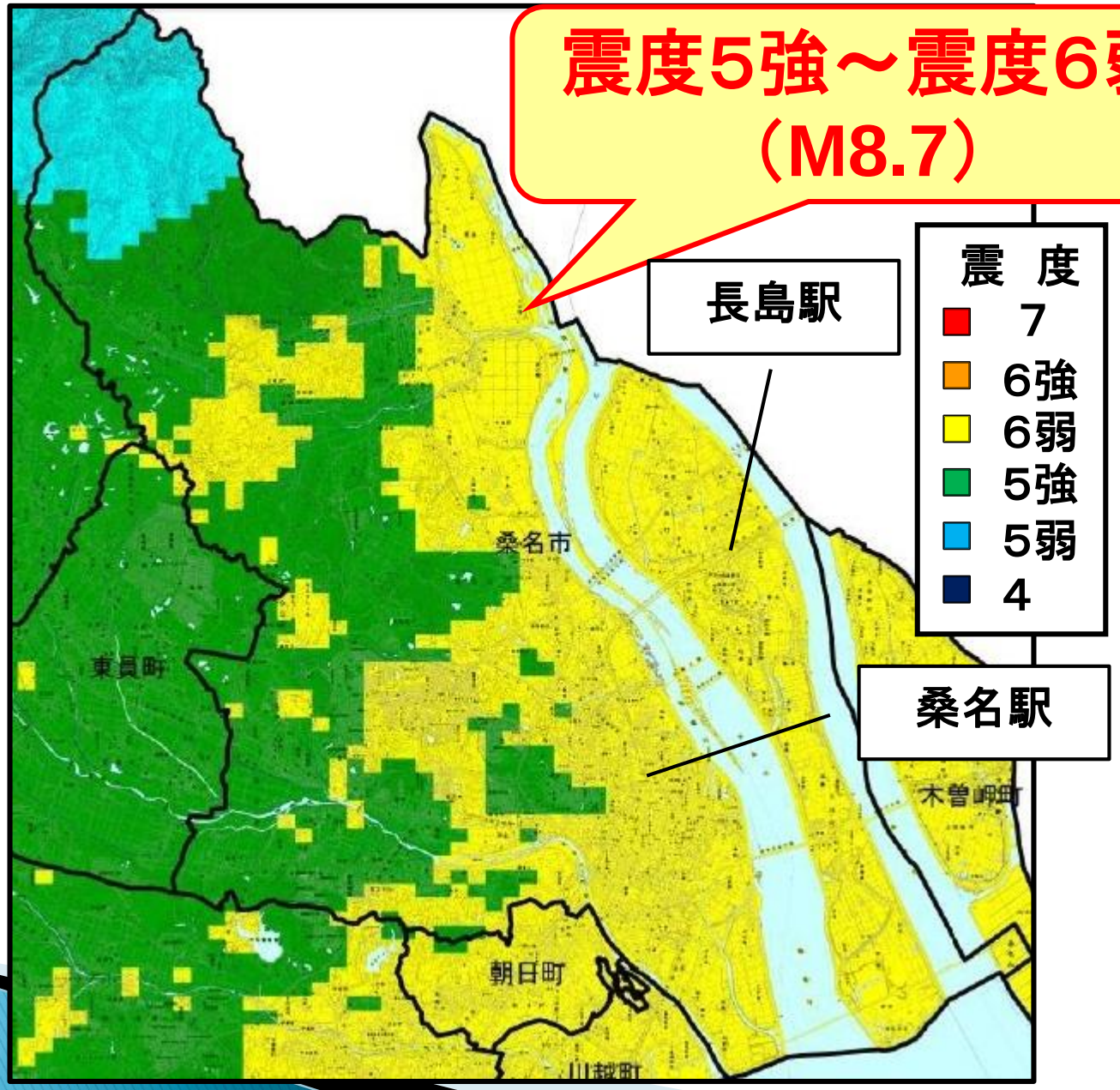
高潮



伊勢湾台風

桑名市の想定震度

南海トラフ地震の想定震度（過去最大）



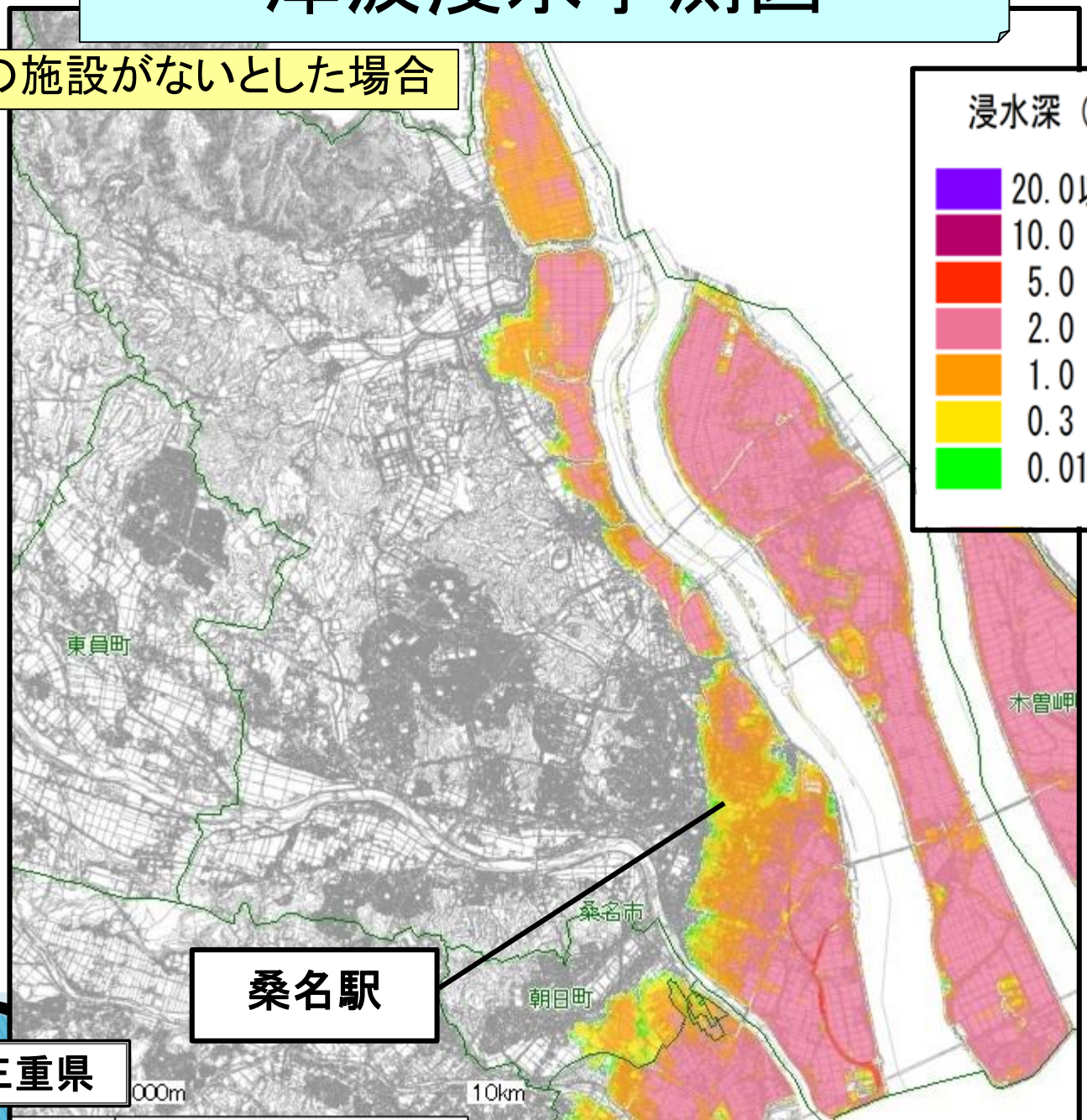
地震の揺れと被害

震度	状態	住宅 耐震性低	住宅 耐震性高	その他
	立っている ことが難しい	倒壊する ものがある	壁や柱が 破損する ものがある。	壁・窓ガラス が破損する 重い家具が 倒れる
	はわないと 動けない	倒壊する ものが多い	壁や柱がか なり破損する ものがある	重い家具の ほとんどが 倒れる
	自分の意思で 行動できない	—	傾いたり、大 きく倒壊する ものがある	地割れ、地 滑り、山崩れ が発生する

桑名市の津波想定

津波浸水予測図

防潮堤等の施設がないとした場合



資料源：三重県

津波の特徴

1　早さ、繰り返し
- 36km／時
- 10m／秒

2　木造家屋倒壊
- 津波高　3m

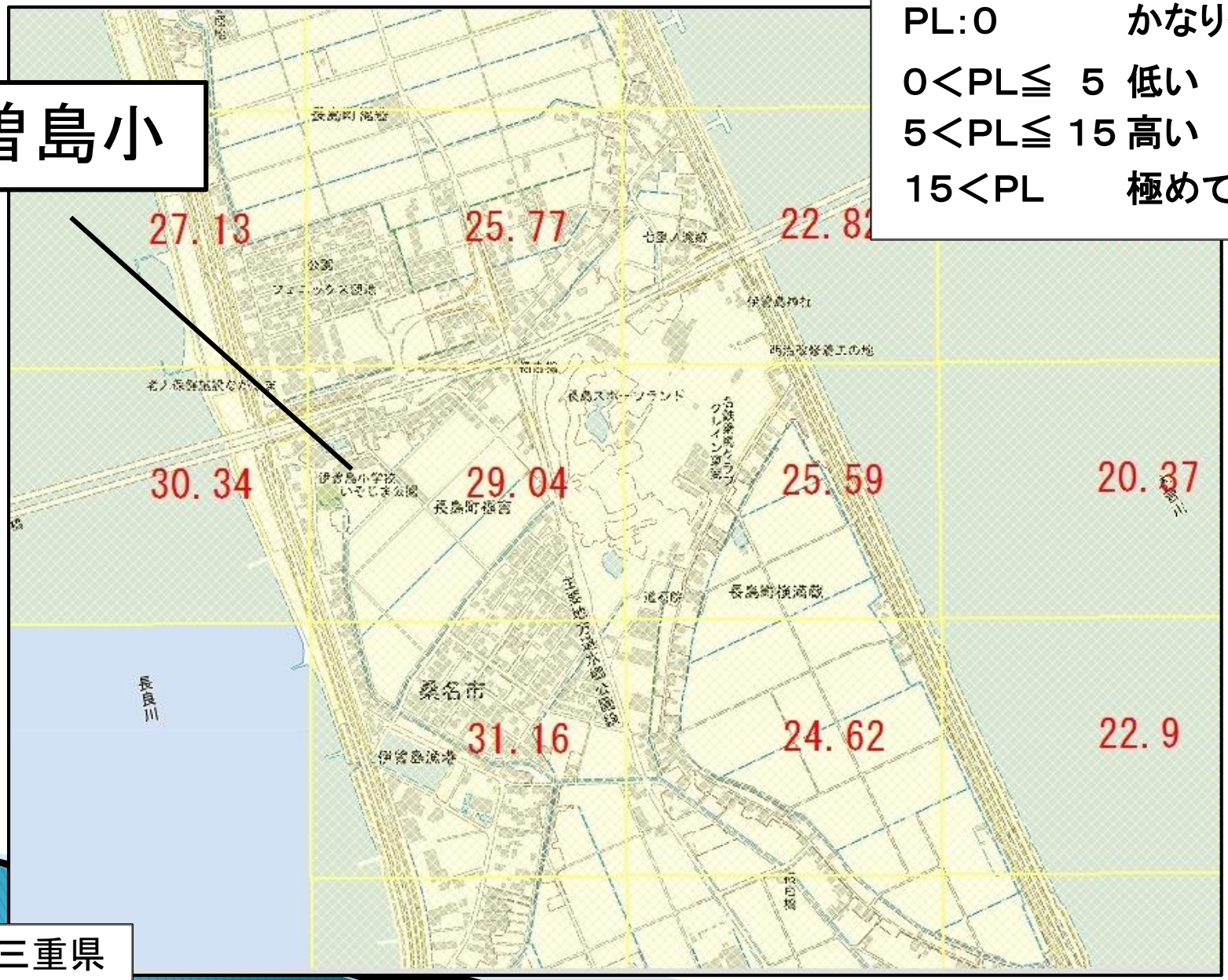
3　到達時間
- 50cm　90分
- 約3m　190分

資料源：三重県

液状化想定

液状化指数

伊曽島小



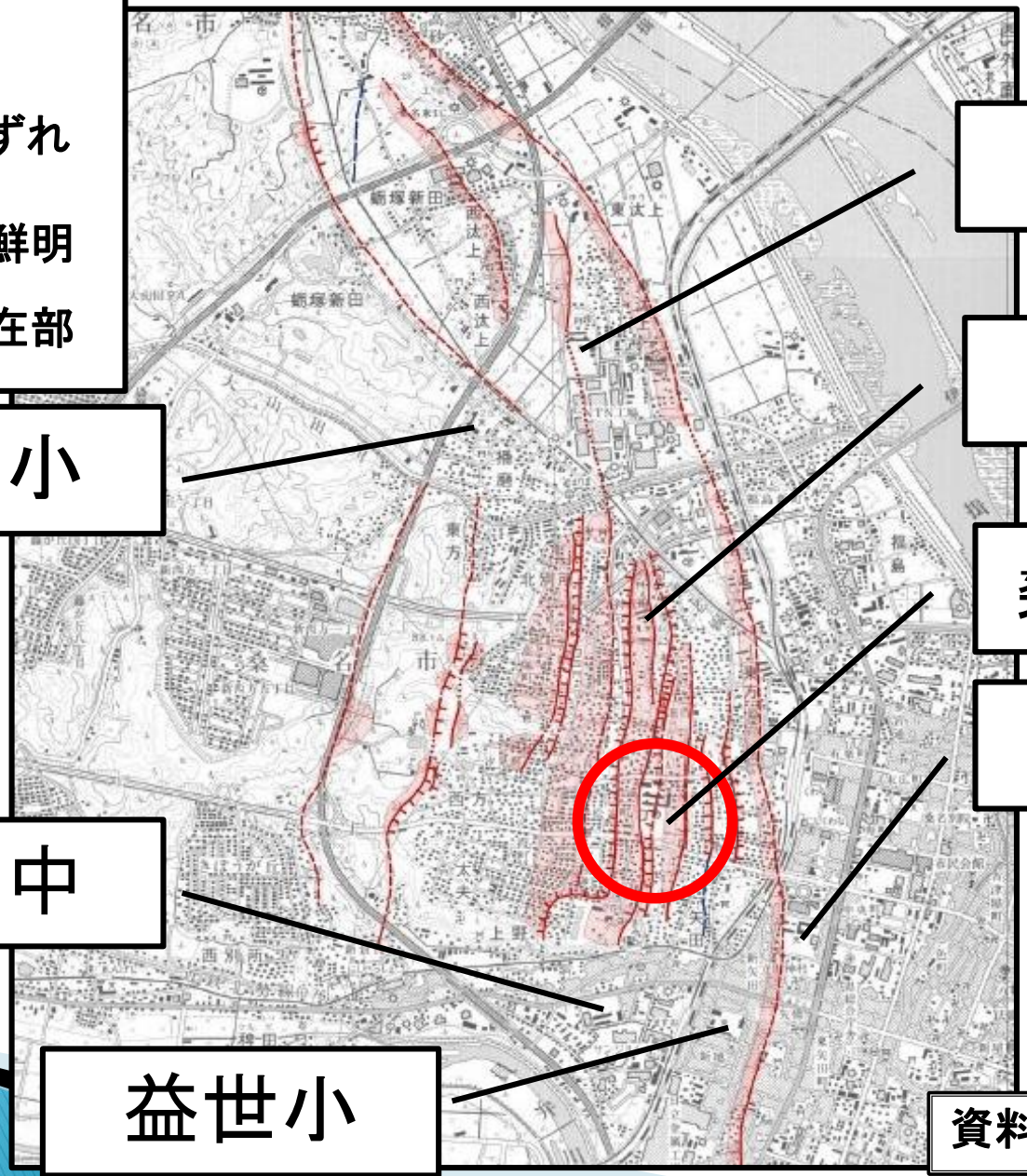
液状化危険度

PL:0	かなり低い
0＜PL≦ 5	低い
5＜PL≦ 15	高い
15＜PL	極めて高い

資料源:三重県

養老-桑名-四日市断層帯（活断層）

養老-桑名-四日市断層帯

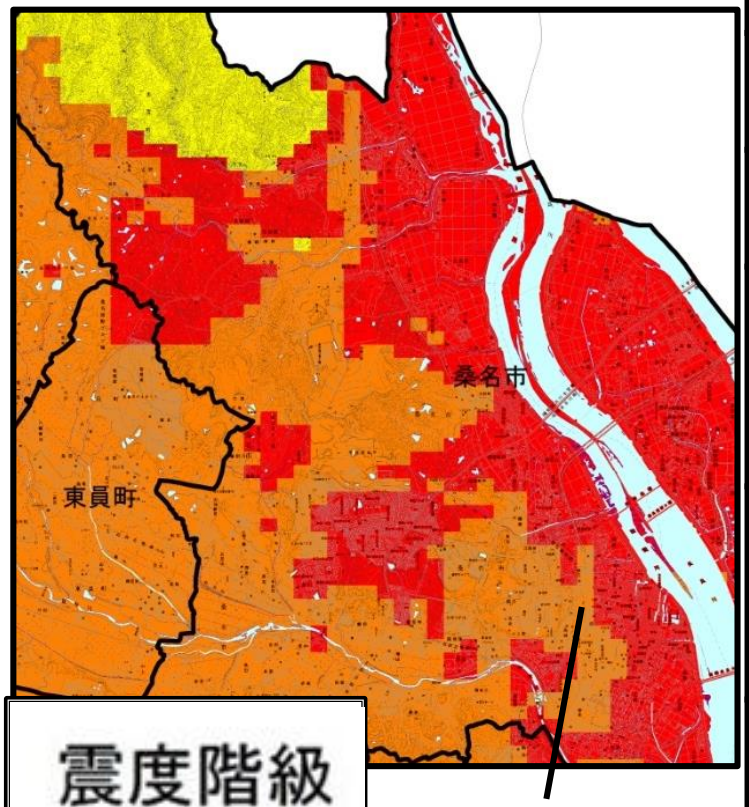


資料源：国土交通省

養老-桑名-四日市断層帯の想定震度

被害想定

（冬の朝5時　風速15m/s）



区　分	被　害	備　考
震　　度	6強以上	M8程度
強振動域	大垣市～鈴鹿市	
人的被害	死者数 5900人	原因 揺れ　約90% 火事　約　7%
物的被害	19万棟	原因 揺れ　約47% 火事　約42%

平均活動間隔　1400～1900 年

最新活動　13～16 世紀

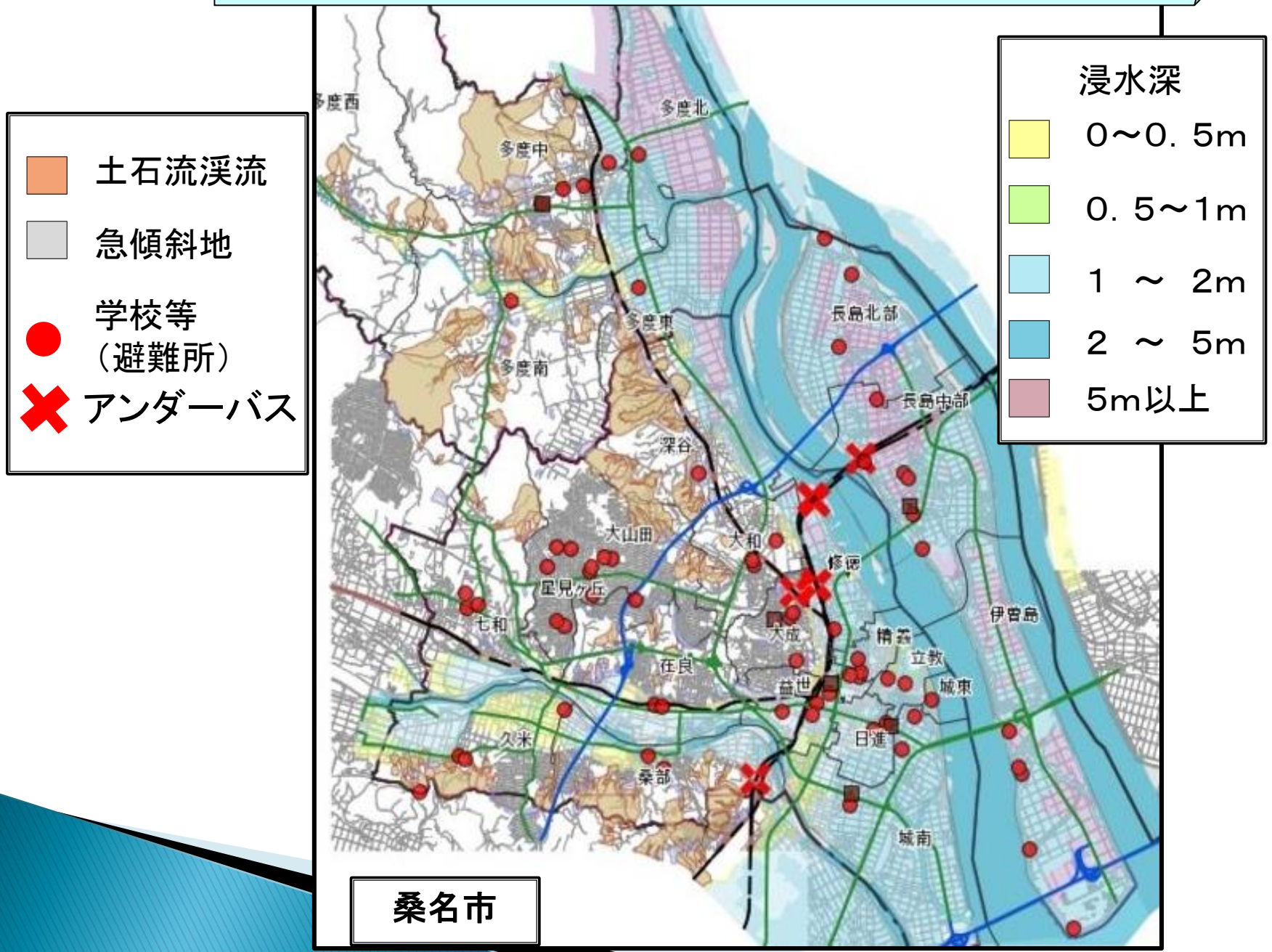
30年内発生確率　0～0．7%

地震調査研究推進本部

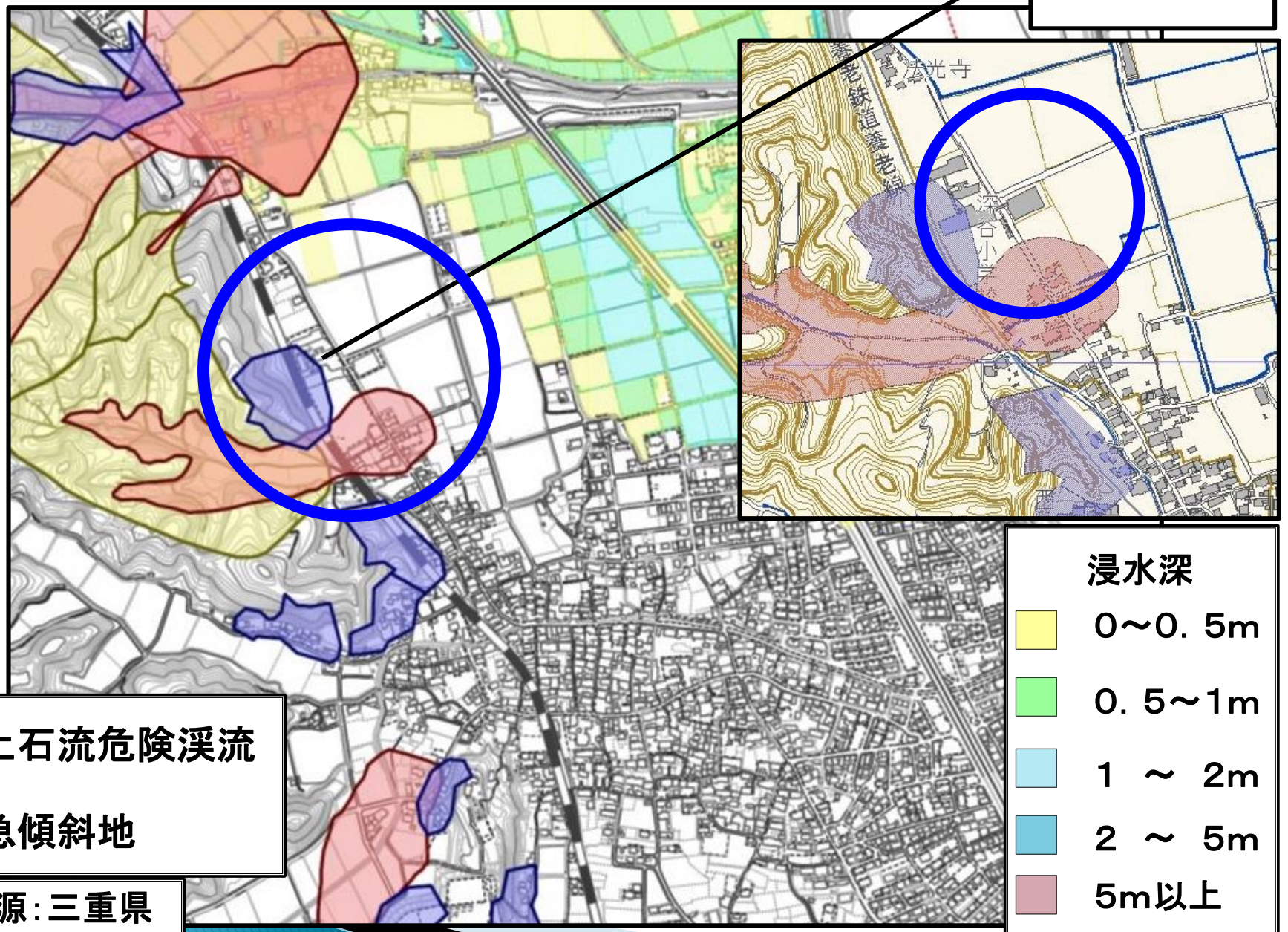
風水害の予測

洪水・土砂災害

洪水・土砂災害予測図


土石流渓流
急傾斜地
学校等
（避難所）
アンダーパス
浸水深
0～0．5m
0．5～1m
1 ～ 2m
2 ～ 5m
5m以上
多度西
多度北
多度中
多度東
多度南
長島北部
長島中部
深谷
大山田
大和
星見ヶ丘
七和
修徳
大成
伊曽島
精義
立教
在良
益世
城東
日進
久米
桑部
城南
桑名市

洪水・土砂災害予測図



各学校区災害想定のまとめ

注意

要対策

対象とする災害（各小学校区）

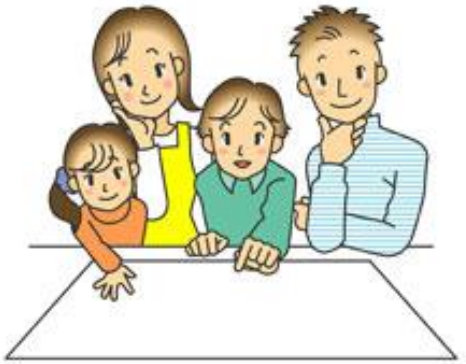
※ 小学校危険性小

小学校区	地震				風水害		
	倒壊	火災	液状化	津波	土砂	洪水	高潮
日進							
精義							
立教							
城東							
益世							
修徳							
大成							
桑部						※	
在良						※	
七和						※	
久米						※	
深谷						※	
城南							

			地震				風水害		
			倒壊	火災	液状化	津波	土砂	洪水	高潮
小学校区	大和								
	大山田	東							
		北							
		西							
		南							
	藤が丘								
	星見ヶ丘								
	多度	東							
		青葉							
		中							
		北							
	長島	北部							
		中部							
	伊曽島								

最後に

「ここは大丈夫」
「災害は明日考えればよい」



私たちの家族と地域を自らの手で災害から守りましょう

安心感をもち、安全なくらしを